



キャンプ利用状況 (12月1日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 4,822 名 *11/30 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 5,066 名 *11/30 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	12/1	2	3	4	5	6	7
曜日	木	金	土	日	月	火	水
宿泊者	11	13	41	15	49	15	15
活動者	12	12	56	42	53	18	16

「山田町社協復興支援愛センター」に名称変更

- ◆ 山田町社協では、きょう 12 月 1 日、災害支援の拠点である山田町災害ボランティアセンターの名称を「山田町社協復興支援愛センター」に変更するとともに、旧岩手県立山田病院に活動拠点を移転しました。瓦礫撤去や泥出しなどの災害支援ニーズも減少する一方で、仮設住宅や被災在宅者の方々への生活支援活動が重要となってきたことから、活動の方向性を明らかにするため名称を変更するとともに、その運営体制を整備するものです。
- ◆ きょう 30 日は、かわボラさん 10 名がセンターの引っ越しの手伝いを行い、NHK の県内ニュースでその作業の様子とかわボラ江口さん(福岡県)のインタビューが大きく紹介されました。
- ◆ キャンプでは、冬季間においても支援愛センターと連携して、その方向性に沿った支援活動を行うこととしております。



支援愛センター事務室(同ブログから)

今日から 12 月。

～ 仮設住宅にボランティアグループの支援 ～

- ◆ きょうから 12 月。キャンプはキリッと寒い朝を迎えました。沿岸被災地では、活動内容の変化とともにボランティアさんの減少がありますが、キャンプでは 3 日から 5 日にかけて 40 名を超えるボランティアさんが支援活動を行います。東京都の JILCA(日本いきいきライフ協力機構)さん 26 名は山田町の仮設住宅集会所でカフェ、マッサージ等の活動を、愛知県の JBM(日本ビューティーマネジメント協会)さん 34 名は宮古市の仮設住宅集会所でカット、マッサージ、メイクのボランティア活動を行います。



キャンプ利用状況 (12月4日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 4,889 名 *12/3 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 5,146 名 *12/3 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	12/4	5	6	7	8	9	10
曜日	日	月	火	水	木	金	土
宿泊者	15	49	15	14	12	12	26
活動者	43	53	18	16	14	13	26

■ 「感謝の夕食会」 川井の食改さんありがとうございます !! ■

- ◆ きのう3日夜、かわボラさん（かわいキャンプのボランティアさんのこと）とキャンプスタッフに感謝する「感謝の夕食会」が、キャンプ食堂で開かれました。この夕食会は、川井食生活改善推進員協議会（会長 柳渡広子さん）の皆さんが、日頃の被災地支援活動に感謝するため、地元川井地区の地場産物を使った郷土食豊かな食事を用意したものです。
- ◆ 活動から帰ったかわボラさん 44 名全員とスタッフに、黍ごはん、キムチスープ、お煮しめ、紅白なます、ポテトサラダ、豆もち、わらび、カブと大根の漬物、デザートに柿が振る舞われました。想定以上にキャンプの利用者が増えたこともあり、当日だけでも、開始の3時間も前から 16 名もの食改さんがキャンプに集合し、準備をされたということです。
- ◆ はじめに、柳渡会長さんと盛岡市役所復興推進部の熊谷次長さんからご挨拶がありました。各テーブルには、かわボラさんと食改さんが同席し、ボランティア活動のことや地元の方言などを話題におしゃべりし、また、各テーブルの代表が活動の思いや感謝の気持ちをスピーチするなど、大いに盛り上がりました。かわボラさんとスタッフは、川井の皆さんの温かいおもてなしに、明日からの活動の大きなエネルギーを充電することができました。



■ 仮設住宅に X' mas tree 贈る ■

- ◆ かわボラ知念さん（埼玉県）と荒木さん（東京都）はきのう3日、呼びかけに応じて全国から寄せられたクリスマスツリー32基を、宮古市生活復興支援センターに出向いて贈呈しました。同センターでは、順次仮設住宅集会所・談話室に配布し、飾り付けていただくこととしております。
- ◆ この企画は、仮設住宅にクリスマスツリーを贈る「X' mas tree プロジェクト」として、知念さんの提案で始められたものです。



左側知念さん、右側荒木さん
(宮古市生活復興支援センター)



キャンブ利用状況 (12月6日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 4,953 名 *12/5 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 5,242 名 *12/5 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	12/6	7	8	9	10	11	12
曜日	火	水	木	金	土	日	月
宿泊者	15	14	12	12	26	11	9
活動者	18	16	14	13	26	12	9

■ JBM さん 宮古仮設住宅でボランティアカット ■

- ◆ きのうち5日、愛知県のJBM(日本ビューティマネージメント協会)さん34名がキャンブを宿泊利用し、宮古市の仮設住宅集会所・談話室でヘアカット等のボランティア活動を行いました。この活動は、かわボラ中田さん(愛知県)がかつて宮古市の仮設住宅サロン活動に参加された際に、震災直後は避難所暮らしで1ヵ月近くも顔を洗うことができなかったことをお聞きし、地元の理美容師さんに相談して実現したものです。
- ◆ 当日は、雪と強風のため、宮古市入りが遅れましたが、高浜仮設、清寿荘近隣仮設、西ヶ丘地区センター、八木沢地区センターの4ヵ所に分かれて、お住まいの方々にヘアカット、マッサージ、眉カット、メイクを行い、喜ばれました。
- ◆ 高浜仮設住宅では、お住まいの方々から手づくりの押し花の葉のプレゼントをいただきました。



JBM の皆さんによるヘアカットの様子



高浜仮設住宅の方々からプレゼントされた押し花の葉

*写真は、いずれも宮古市生活復興支援センターブログから



キャンプ利用状況 (12月8日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 4,982 名 *12/7 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 5,271 名 *12/7 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	12/8	9	10	11	12	13	14
曜日	木	金	土	日	月	火	水
宿泊者	12	12	26	11	9	9	9
活動者	14	13	26	12	9	9	9

民間企業の復興を支援

- ◆ 今月5日から、山田町社協ふれ愛センターの要請で、山田町大沢漁港大和水産さんの蒸籠(せいろう)の洗浄作業を行っています。この蒸籠は、煮干しを製造する加工工場で使われる用具で、原料魚のイワシを並べて蒸す際の金網を張った木枠の台のことです。津波で海の土砂を被った蒸籠をブラシ等で丁寧に泥落としをする作業で、立ち仕事となります。キャンプでは、この活動に1日5~6名のかわボラさんの参加を続けます。
- ◆ きょう8日かわボラさんは、大槌町小槌のショッピングセンター「シーサイドタウンマスト」の机、ロッカー等の移動など、開店準備作業に参加しました。マストは、岩手県沿岸部最大級の商業施設で震災直後は瓦礫にすっかり覆われました。店内には核店舗のスーパーとホームセンターのほか、金融機関や45店の専門店が入ることとなっています。マストは今月22日、地域の賑わいの回復を担って震災前と同じ場所で9ヵ月ぶりに営業を再開する予定です。
- ◆ キャンプでは、古里の復興に繋がる民間企業の復興に向けた支援活動にも積極的に参加します。



蒸籠の洗浄作業 (大沢漁港)



キャンプ利用状況 (12月10日現在)

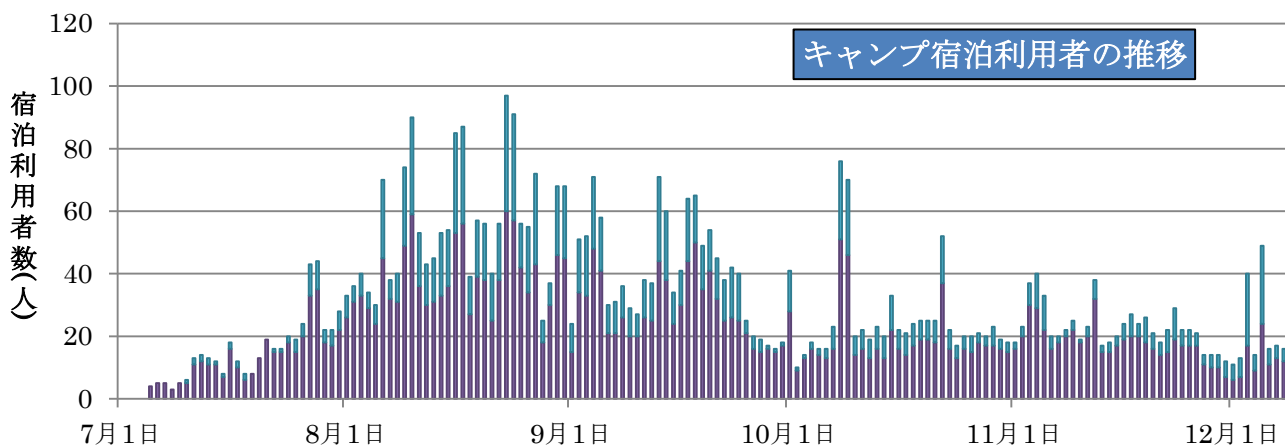


- 宿泊利用者数 延べ 5,015 名 *12/9 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 5,306 名 *12/9 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	12/10	11	12	13	14	15	16
曜日	土	日	月	火	水	木	金
宿泊者	35	22	21	20	17	17	16
活動者	32	27	20	21	19	17	15

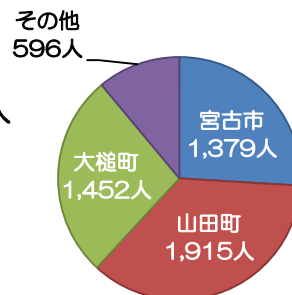
■ キャンプ宿泊利用 5,000 人を突破 !! ■

- ◆ きょう9日、キャンプの宿泊利用者さんがオープン以来 5,000 人を突破。7月6日のオープンから 157 日目で達成しました。岩手沿岸部の被災地支援のため、ボランティアとしてかわいキャンブを利用いただきありがとうございます。12月に入り、被災地のボランティアニーズの変化などに伴い、利用者さんも減少傾向にあります。少ない日でも 20 人前後のボランティアさんが利用し、支援活動に参加いただいております。
- ◆ 古里の復興への道のりは、ようやく緒についたばかりです。被災された方々の心の復興と生業(なりわい)の復興が相まって普段の暮らしの復興が実現に向けて動き出します。かわいキャンブは、全国各地から集結するかわぼうさんの大きな力を結集して支援活動を続けます。



活動場所の内訳

活動者計 5,306 人





キャンプ利用状況 (12月11日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 5,050 名 *12/10 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 5,338 名 *12/10 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	12/11	12	13	14	15	16	17
曜日	日	月	火	水	木	金	土
宿泊者	23	21	20	18	21	20	17
活動者	31	24	23	18	18	19	19

大震災 きょう 9 ヶ月を迎える

- ◆ きょう 11 日、3.11 の大震災の発生から 9 ヶ月を迎えました。岩手県内で亡くなられた方は 4,665 名、未だ行方が不明の方は 1,385 名に上っております。岩手県沿岸部 12 市町村の復興の青写真となる復興計画は、年内には出そろそろ見通して、来年から復興に向けたまちづくりが動き出します。
- ◆ 7 日には暦の上では雪が本格的に降る頃とされる大雪を迎え、また 10 日には冬型の気圧配置が強まり宮古市で氷点下 4.3℃と今季最低を記録するなど、被災地には厳しい冬が本格的にやってきます。キャンプとしては、ボランティアさんの力を得て、冬期間においても被災された方々が閉じこもることがないような、また生業(なりわい)の復興を応援するような支援活動を、被災地の復興センターと連携して進めます。



大槌湾



11 日朝 8:00 のオリエンテーション (キャンプ食堂)



キャンプ利用状況 (12月14日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 5,116 名 *12/13 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 5,416 名 *12/13 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	12/14	15	16	17	18	19	20
曜日	水	木	金	土	日	月	火
宿泊者	19	23	25	23	18	17	19
活動者	18	19	22	25	31	18	19

■ 宮古市復興支援センター連絡会議開かれる ■

- ◆ 12月9日、第2回目の宮古市復興支援センター連絡会議が、宮古市への支援関係者約50名出席し宮古市総合福祉センターで開かれました。この連絡会議は、関係機関や支援団体などの役割が被災された方々に効果的に繋げることができるよう情報交換を行い、連携や協働体制を築こうとするもので、行政機関、福祉団体、介護サービス事業所、NPO、ボランティア団体、社協などが参加して、11月25日に初めて開かれたものです。
- ◆ 今回は、「相談支援活動」を話し合う分野の会議に、かわいキャンプから熊谷所長代理が出席しました。仮設住宅で暮らす方々への支援活動について、復興支援センターから民生委員に対する情報提供、生活支援相談員と民生委員との連携の在り方などについて意見交換がありました。

■ M.A.Dさんキャンプに入営！ ■

- ◆ きょう13日、宮古災害復興支援活動チームM.A.D (Miyako Action Development) 代表の千葉智広さんと金野侑さんが、かわボラさんとの交流と宿泊体験をするため、キャンプを訪れました。M.A.Dさんは、震災直後宮古市内の7人の若者が中心となって設立された市民団体で、宮古市社協と協働しながら宮古の復興支援活動に中心的役割を果たしております。
- ◆ 当日は、大量の食材料と料理鍋を持参して見えられ、就寝時刻ギリギリまでかわボラさんとの交流が続けられたということです。



M.A.Dの千葉さん(右)と金野さん

リポートかわいキャンプ

2011.12.17
第70号
盛岡市災害
ボランティアセンター



キャンプ利用状況 (12月17日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 5,184 名 *12/16 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 5,476 名 *12/16 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	12/17	18	19	20	21	22	23
曜日	土	日	月	火	水	木	金
宿泊者	23	18	17	19	20	16	22
活動者	25	31	18	19	19	20	22

■ 山田町船越地区の畑づくり活動 ■

- ◆ きょう 17 日、かわボラさんは山田町船越地区で球根を育てる畑づくりを行いました。今回は、一面に広がる枯れた雑草を刈り払ったり、散乱した木々やゴミを片付ける力仕事の作業でした。この後、トラクターで耕し、花の球根を植え付けます。ここで育てられた花は、道路沿いの花壇の整備に使われます。キャンプからはかわボラさん 7 名が参加し、畑は見違えるほどきれいに刈払われ、整地されました。



整地前



整地後

■ 宮古市の写真の洗浄活動 ■

- ◆ 宮古市立宮古小学校の旧給食室で、宮古地域で津波により各家庭などから流出し、後日収集された写真、アルバムの洗浄を行っております。この活動に連日、5～6 名のかわボラさんが参加しております。処理されていないものがまだまだあり、年が明けてからも作業は続きます。
- ◆ 収集から相当時間も経過し傷みが大きいものがありますが、被災された方々にできるだけ早く「思い出」を返そうと、かわボラさんは黙々と作業を続けています。



写真洗浄の様子 (宮古小旧給食室)

盛岡市災害ボランティアセンター 019-651-1000
盛岡市かわいキャンプ 013-76-2005



キャンプ利用状況 (12月19日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 5,232 名 *12/18 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 5,540 名 *12/18 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	12/19	20	21	22	23	24	25
曜日	月	火	水	木	金	土	日
宿泊者	20	21	22	20	30	29	15
活動者	21	21	21	22	31	34	25

■ 宮古市仮設住宅サロンに児童館の先生 ■ ～ 玉山区の児童館職員ボランティア ～

- ◆ きょう 8 日宮古市仮設住宅集会所で、児童館の先生方による仮設住宅サロンが開かれました。盛岡市社協の児童館（玉山区）の職員 8 名がボランティアとして、宮古市の崎山、近内、鍬ヶ崎、清寿荘近隣の各集会所に分かれて、お住まいの方々や子どもたちと一緒に X'mas のリースづくりを行いました。この日参加された方々は、4 カ所で 50 名の盛況ぶりで、みんな出来栄にはご満悦の様子でした。



崎山仮設住宅



鍬ヶ崎仮設住宅



清寿荘近隣仮設住宅

■ 平田オリザさん キャンプを訪問 ■

- ◆ きょう 8 日夕方、劇作家・演出家で大阪大学コミュニケーションデザイン教授の平田オリザさんが、盛岡市復興推進部職員の案内でキャンプの視察に訪れました。
- ◆ 平田さんは、この日宮古市の岩手県立大宮古短大部で開かれた「いわて未来づくり機構」などの主催によるワークショップ「いわて三陸復興のかけ橋～新しき明日へ向かって～」で講演されました。帰路にキャンプに寄っていただいたものです。



キャンブ利用状況 (12月21日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 5,232 名 *12/20 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 5,540 名 *12/20 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	12/21	22	23	24	25	26	27
曜日	水	木	金	土	日	月	火
宿泊者	22	20	30	29	15	12	6
活動者	21	22	31	34	25	46	47

子どもたちに レモンケーキ 1,800 個のプレゼント

～ 「復興岩手」さんの支援活動 ～

- ◆ 盛岡地区の企業や飲食店、NPOなどで構成される「復興岩手」さんが、19日から21日にかけて大槌町と山田町の小・中学校、保育園の子どもたちへレモンケーキ（タルトタタン製）1,800個を贈りました。そのうち、キャンブに託された800個は、大槌町の私立保育園4カ所と山田町の学童保育所、幼稚園5カ所に届けられました。大槌町には、千葉副所長が各保育園を訪問し、お渡ししました。
- ◆ レモンケーキの包装紙には、サンタクロースの図柄に「みんな友達」「元気でいてね」などと手書きのメッセージラベルが貼られています。



大ヶ口保育園



大槌保育園



堤乳幼児保育園

大杉神社復興プロジェクトに参加！

- ◆ 19日山田町で、ボランティアさんにはめったに経験できない支援活動を行いました。神事の服装に着替えて、山田八幡宮へ大杉神社の仮社殿移動の担ぎ手などとして臨んだのです。大杉神社は、震災によって石造りの鳥居だけを残して全壊しました。かわボラさんは、茨城県から贈られた仮社殿を組み立てた後、地元の鎮守の森に納めるという大事な儀式に参加し、ボランティア活動の奥の深さを学びました。
- ◆ 今回の活動は「大杉神社復興プロジェクト」の補助スタッフボランティアとして参加したものです。



八幡宮鳥居前で



キャンプ利用状況 (12月23日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 5,317 名 *12/22 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 5,627 名 *12/22 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分		12/23	24	25	26	27	28
曜 日		金	土	日	月	火	水
宿泊者		38	34	16	12	6	—
活動者		44	50	36	46	47	35
内 訳	個人	37	43	29	11	12	—
	団体	7	7	7	35	35	35

かわいキャンプは、28日から年末年始の休業に入ります。7月6日の開設以来、休みなしで175日間連続で運営を続けてまいりましたが、各地の復興支援センターが休みに入ることもあって、27日の宿泊をもって今年の営業を休止します。新年は、1月4日午後から入営の受け付けを開始し、5日から支援活動を再開します。

■ 今年最後の3連休 頑張るかわボラさん ■

- ◆ 今年最後の3連休が、きょう23日から始まりました。この間、宿泊者、活動者とも12月としては極めて多い状況にあります。個人ボランティアさんが圧倒的に多いのが特徴です。
- ◆ きょうかわボラさんは、宮古市の仮設住宅（宮古二中・鍬ヶ崎）サロン活動と仮設住宅引っ越し支援に、山田町の球根畑づくりに、大槌町の写真洗浄・整理作業に頑張ります。また、愛知県の「DREAMER～夢人」3名は、日帰りで山田町の仮設住宅（猿神）でのクリスマスイベントに参加します。
- ◆ 12月に入っても、屋内活動のほかに屋外での活動のニーズも引き続きあります。寒い中ですが、キャンプではかわボラさんの協力を得ながら支援を続けます。



球根畑づくり / 山田町



キャンプ利用状況 (12月25日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 5,398 名 *12/24 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 5,725 名 *12/24 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分		12/25	26	27	28
曜 日		日	月	火	水
宿 泊 者		19	14	7	—
活 動 者		38	51	50	35
内 訳	個 人	35	16	15	—
	団 体	3	35	35	35

■ X' mas ケーキのプレゼント 3 題 ■

- ◆ きのう 24 日、かわボラさんから宮古市の仮設住宅（3 ヲ所）にお住まいの方々に X' mas ケーキのプレゼントがありました。荒木さん（東京都）が地元の有志の方々から購入資金を募って宮古市のお菓子屋さんに 300 個の注文を行い、かわボラさん 17 名とともに、浄土ヶ浜、河南、近内の仮設住宅を巡って配って歩きました。さっそく集会所では、ケーキを食べながら楽しくおしゃべりが続けられました。
- ◆ キャンプに近い国道 106 号沿いのパン屋「みついし」さんから、立派な X' mas ケーキがきのうの午後、かわボラさんあてに届けられました。きのうキャンプを出営された野中さん（埼玉県）からのプレゼントで、この粋な演出に同日宿泊されたかわボラさんは、感激しながらおいしくいただいたとのこと。
- ◆ さらに、事務室にも「スタッフの皆さんに渡してほしい」との言づけで、匿名さんから立派なケーキが届きました。配達に見えられた「みついし」さんからお聞きしますと、贈り主の名前は言わないでほしいとのことだったようです。スタッフにもサンタさんがやってきました。



仮設住宅に贈られたケーキ



野中さんから贈られたケーキ囲んで



匿名さんから贈られたケーキ



キャンプ利用状況 (12月28日現在)



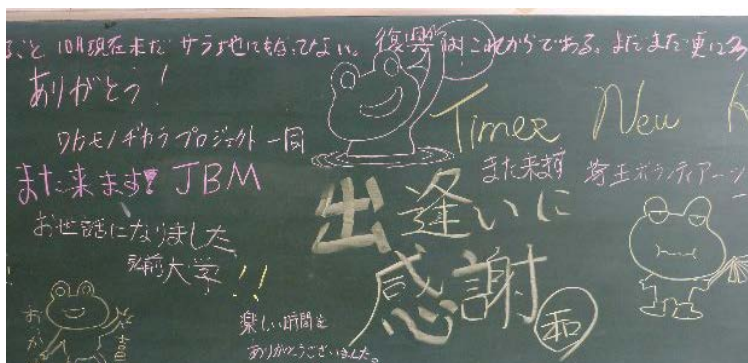
- 宿泊利用者数 延べ 5,442 名 *12/27 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 5,912 名 *12/28 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	12/28		1/4	5	6	7	8
曜 日	水		水	木	金	土	日
宿 泊 者	0		3	7	10	12	11
活 動 者	44		0	5	11	10	13
内 訳	個 人	9		0	5	11	10
	団 体	35		0	0	0	0

5,912 名 の ボランティアの皆さん

ありがとうございました

- ◆ きょう28日から1週間、かわいキャンプは年末年始のお休みをいただきます。
キャンプ開所以来176日目、キャンプ入営・出営者2,261名、宿泊利用者延べ5,442名（男性3,898名、女性1,544名）、活動者延べ5,912名の方々が全国各地や海外から、岩手の復興支援のために駆け付きました。寒さでも、宿泊利用活動者846名を外の活動もあるボランティアさんには、仕事に頑張ってた。
- ◆ 7月初めからキされ、これまでわっていただいた多くのボランティアさん、キャンプの運営を支え応援していただいた川井地区、盛岡市、岩手県、全国の多くの皆様に心から感謝申し上げます。
- ◆ 新しい年を迎えても被災地の状況は、カレンダーをめくるように一新されるものではありません。キャンプでは、引き続き暮らしの復興、古里の復興への支援に向け、これまでの活動で寄せられたかわぼうさんに対する信頼の下に、各復興支援センターと緊密に連携しながらボランティアニーズに即応できるよう頑張っています。



けていただき
迎えた12月
者620名、活
数えました。屋
中でボランテ
カ仕事や立ち
いただきまし

キャンプを利用
支援活動に携